

最新作のプロダクション・ショー「スポットライト・バー」を ディスカバリー・プリンセスで初披露



[プリンセス・クルーズ](#)は、2022 年 4 月に新造船「ディスカバリー・プリンセス」で最新作のオリジナル・プロダクション・ショー「スポットライト・バー」を初披露することを発表しました。この想像力に満ちあふれたショーはお客様を活気あるバーの雰囲気へと誘い、そこでは地元の語り部たちと出会い、歌を通して彼らの人生の物語に触れることができます。

バーのオーナー、常連客やそうでない人など、すべての人の思い出を呼び起こし、思わず体を動かさずにはいられないようなプレイリストで、「スポットライト・バー」は、皆が集う場所になることでしょう。このショーでは、モダンミュージカルのプレイリストが用意され、様々な曲をキャストが演奏します。

- サラ・バレリス「ブレイヴ (Brave)」
- スティーヴィー・ワンダー「ドント・ユー・ウォリー・アバウト・ア・シング (Don' t You Worry About a Thing)」
- カミラ・カベロ「ハバナ (Havanna)」
- リル・ナズ・X & ビリー・レイ・サイラス「オールド・タウン・ロード (Old Town Road)」
- ジャスティン・ティンバーレイク「ドリンク・ユー・アウェイ (Drink You Away)」
- ジョージ・マイケル「フリーダム (Freedom)」

プリンセス・クルーズのエンターテインメント・エクスペリエンス担当 ヴァイス・プレジデントであるデニス・サヴィスは次のように述べています。

「スポットライト・バーは、地元の人々が集まり、おしゃべりを楽しみ、笑い、お酒を飲み、そして1、2曲歌いたいと思う、フレンドリーな近所にあるバーの物語を語ります。ディスカバリー・プリンセスのお客様には、親しみやすい音楽と友情というテーマに夢中になり、才能あるプリンセス・クルーズのエンターテイナーと心からつながることを願っています」。

「スポットライト・バー」は、2022年4月17日、ロサンゼルス発着メキシカンリビエラクルーズを運航するディスカバリー・プリンセスのプリンセス・シアターにて初披露されます。このショーは、ディスカバリー・プリンセスの全クルーズで上演され、プリンセス・クルーズの情熱あふれるシンガー、ダンサー、ミュージシャンによる生演奏をお楽しみいただけます。

プリンセス・クルーズと共に「スポットライト・バー」を作り上げた制作チームは以下の通りです。

カレン・ブルース（監督・振付）

英国内外の劇場やテレビで活躍するブルースは、「ラスト・タンゴ」、「ダンス・ティル・ドーン」、「ミッドナイト・タンゴ」、「ラブ・ミー・テンダー」、「ボディガード」（英国、ドイツ、米国）、「アント・アンド・デックス・サタデーナイト・テイクアウェイ」、「ストリクトリー・カム・ダンシング」（2011年から5シーズン）、BBC「ソー・ユー・シンク・ユー・キャン・ダンス」（第2シリーズ）の演出・振付を担当。ドンマー・ウェアハウスでの「太平洋序曲」の振付でローレンス・オリヴィエ賞を受賞、「サタデー・ナイト・フィーバー」の振付ではミュージカル・シアター賞最優秀振付師に選出。テイク・ザットのミュージカル「ネバー・フォーゴット」の振付でも高い評価を得ており、「フットルース・ザ・ミュージカル」と「フェイム」の英国公演およびウエストエンドでの演出・振付を担当したことで知られる。1995年から2006年にかけて、数作品のプロダクション・ショーを手がけた経験のある、プリンセス・クルーズにも馴染み深い人物。

モーガン・ラージ（舞台デザイン）

「ロック・オブ・エイジズ」、「フェイム」、「テル・ミー・オン・ア・サンデー」、「ワンダーランド」（シアターアワード最優秀デザイン賞）、「ルーム・オン・ザ・ブルーム」（ローレンス・オリヴィエ賞ノミネート）、「トップハット」で知られる英国の著名な舞台美術家。ブルースとは「ラスト・タンゴ」、「フットルース・ザ・ミュージカル」、「ミッドナイト・タンゴ」（ローレンス・オリヴィエ賞ノミネート）で共に作品に携わる。

クリス・イーガン（音楽監督）

映画、テレビ、劇場音楽、ライブコンサートなどで幅広く活躍する英国の作曲家、オーケストレーター、指揮者、音楽監督。主な作品は「ボディガード」、「ウェディング・シンガー」、「アップステアーズ・ダウンステアーズ」、「ダウントン・アビー」、「ひつじのショーン2」など。イーガンは、エレイン・ペイジの音楽監督も務める。

ジェームズ・ホワイトサイド（照明デザイン）

英国内外で演劇、ミュージカル、ダンス、オペラの照明に15年以上の経験を持ち、コマーシャル・プロデュ

ーサー、レパートリー・ハウス、独立系劇団のために働く。小規模なツアーからウエストエンドのミュージカルまで、様々な照明デザインを手がける。2006 年、プリンセス・クルーズの作品「デスティネーション・エニウェア」でブルースと共に作品に携わる。

ジャクソン・ローウェル（衣装デザイン）

ケイティ・ペリー、ピンク、ポーラ・アブドウル、エルトン・ジョン、バーブラ・ストライサンド、アッシャーなど多くのセレブリティやコンサートツアーの衣装を担当。また、ハーバード・ストリート・ダンス・カンパニー、ポール・テイラー、サンフランシスコ・バレエ団、トワイラ・サープ、オークランド・ダンス・カンパニーなど、多くの著名なダンスカンパニーのデザインも手掛ける。クルーズ客船というユニークな環境を理解し、その専門知識をプリンセス・クルーズでも遺憾なく発揮した。

ディスカバリー・プリンセスは 2022 年 3 月 27 日～4 月 24 日の期間はメキシカンリビエラおよびカリフォルニアコーストクルーズに就航し、その後太平洋岸へと向かい、シアトル発着のアラスカクルーズ 8 日間のシーズンがスタートします。

乗客定員 3,660 名のディスカバリー・プリンセスは、ロイヤル・クラス 6 隻目にして最後の新造船で、姉妹船であるエンチャンテッド・プリンセス、スカイ・プリンセス、マジェスティック・プリンセス、リーガル・プリンセス、ロイヤル・プリンセスの壮麗なスタイルと豪華さを全て受け継いでいます。洋上最大級のバルコニーから 270 度の眺望をお楽しみいただけるスカイ・スイート、究極のくつろぎをご提供するサンクチュアリ、五感を刺激するワールドクラスのダイニングなど、革新的な新しい体験の数々をご用意しています。ディスカバリー・プリンセスは、最新テクノロジーを駆使し、燃料消費量の削減、廃水処理、環境コンプライアンスへの取り組みなどを行っています。

ディスカバリー・プリンセスの詳細については、<https://www.princess.com/ships-and-experience/ships/xp-discovery-princess/>（英語）をご覧ください。

プリンセス・クルーズは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況を受け、常に最新の健康と安全のプロトコルを確認しながら運航やサービスを提供していきます。最新情報は、プリンセス・クルーズウェブサイト「[安全にクルーズ旅行をお楽しみいただくために](#)」ページをご確認ください。

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 15 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。カリブ海、アラスカ、パナマ運河、メキシカンリビエラ、ヨーロッパ、南米、オーストラリア/ニュージーランド、南太平洋、ハワイ、アジア、カナダ/ニューイングランド、南極、ワールドクルーズを含む世界 380 以上の目的地に年間 200 万人のお客様をお連れしている。各デスティネーションのエキスパートチームが手掛ける 3 泊から 111 泊の日程でバラエティ豊かな 170 以上のクルーズは、「ベストクルーズライン クルーズコース部門賞」を受賞。2017 年、親会社であるカーニバル・コーポレーションと共同で、バケーション業界で最も先進的なウェアラブルデバイス「メダリオン」を利用したメダリオン・クラス・バケーションを導入し、メダリオン・クラスの客船にご乗船のお客様へ無料でご提供。受賞歴のあ



るこの革新的な技術により、お客様のクルーズライフをより快適にするきめ細やかなサービスの提供を実現。プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK) 傘下の会社。

プリンセス・クルーズは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する保健当局からの最新のアドバイスに基づき、医療専門家および政府機関の意見を取り入れながら、常に最新の健康と安全のプロトコルを強化し、運航やサービスを提供していきます。最新情報は、プリンセス・クルーズウェブサイト「[安全にクルーズ旅行をお楽しみいただくために](#)」ページをご確認ください。

株式会社カーニバル・ジャパン
(プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)
<https://www.princesscruises.jp/>